

# グローバルネットワーク

## 海外ネットワーク

### パワトラ事業部門

- ◆ 1 U.S. Tsubaki, Inc. (アメリカ)
- ◆ 2 Ballantine, Inc. (アメリカ)
- ◆ 3 TSUBKI BRASIL REPRESENTACAO COMERCIAL LTDA. (ブラジル)
- ◆ 4 Tsubaki of Canada Limited (カナダ)
- ◆ 5 Tsubakimoto Europe B.V. (オランダ)
- ◆ 6 Tsubakimoto U.K. Ltd. (イギリス)
- ◆ 7 台湾椿本股份有限公司 (台湾)
- ◆ 8 Tsubakimoto Singapore Pte. Ltd. (シンガポール)
- ◆ 9 Tsubakimoto Automotive (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
- ◆ 10 Tsubakimoto (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
- ◆ 11 Tsubaki Australia Pty. Limited (オーストラリア)
- ◆ 12 椿本汽車発動機(上海)有限公司 (中華人民共和国)
- ◆ 13 天津華盛昌齒輪有限公司 (中華人民共和国)
- ◆ 14 椿本佳宝来拖鏈(上海)有限公司 (中華人民共和国)
- ◆ 15 椿本鏈条貿易(上海)有限公司 (中華人民共和国)
- ◆ 16 椿艾默生機械(上海)有限公司 (中華人民共和国)

### マテハン事業部門

- ◆ 1 T.E.E.U. Limited (イギリス)
- ◆ 2 Korea Conveyor Ind. Co., Ltd. (大韓民国)
- ◆ 3 天津東椿大気塗装輸送系統設備有限公司 (中華人民共和国)
- ◆ 4 上海東波大気輸送系統設備有限公司 (中華人民共和国)
- ◆ 5 天津椿本輸送機械有限公司 (中華人民共和国)
- ◆ 6 Korea Mayfran Co., Ltd. (大韓民国)
- ◆ 7 椿本美芙蘭輸送機械(上海)有限公司 (中華人民共和国)



◆...パワトラ事業部門  
◆...マテハン事業部門

## 国内ネットワーク

(株)椿本チエイン ■...本社 ■...支社(東京、名古屋、大阪)  
■...工場(京田辺、埼玉、京都、兵庫)

### パワトラ事業部門

- 1 (株)ツバキエマソン
- 2 (株)椿本カスタムチエイン
- 3 (株)椿本スプロケット
- 4 (株)椿本鑄工
- 5 ツバキ山久チエイン(株)
- 6 新興製機(株)

### その他サービス関係

- (株)ツバキサポートセンター

### マテハン事業部門

- 1 (株)椿本バルクシステム
- 2 椿本メイフラン(株)

### 国内販売会社

- 1 (株)椿本マシナリー
- 2 椿本西日本(株)
- 3 (株)北海道椿本チエイン



# サイトレポート

## 株式会社椿本チエイン 京田辺工場



設立年月：2001年6月  
 代表者：取締役専務執行役員 金平 誠  
 住所：〒610-0380 京都府京田辺市甘南備台1-1-3  
 敷地面積：230,100㎡  
 緑地面積：87,438㎡  
 資本金：170億7,600万円（椿本チエイン）  
 従業員数：801名  
 事業内容：伝動用ローラチェーン、コンベヤチェーン、ケーブルドラッグチェーンおよび応用チェーン一式の設計・開発・製造



当工場では、「地球環境の保全を経営の最重要課題の一つと位置づけ、自主的に環境管理活動に取組む」との環境方針のもと、環境マネジメントプログラム（展開計画）と各種改善活動の総合力による全員活動で環境負荷低減に努めています。その結果、工場でのCO<sub>2</sub>排出量を原単位で前年度比5%削減し、廃棄物の再資源化率と共に、つばきグループ環境目的・目標の数値に貢献できました。更に工場敷地内の緑化を進め、工場外に油を流出させない活動も展開しています。

2008年度も環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進するとともに、環境負荷低減商品の拡販および環境配慮製品の開発により、地球環境を考えたつばきの「技術」を提供していきます。

## 株式会社椿本チエイン 埼玉工場



設立年月：1962年3月  
 代表者：取締役常務執行役員 藤原 透  
 住所：〒357-8510 埼玉県熊谷市新光20  
 敷地面積：179,647㎡  
 緑地面積：39,409㎡  
 資本金：170億7,600万円（椿本チエイン）  
 従業員数：835名  
 事業内容：各種輸送機械器具、同付属品の製造販売、輸送機械装置の設計および設置、各種電気電子機器、同付属品の製造販売、電気機器装置の設計および設置工事



当工場の環境マネジメントは、つばきグループの中で先進的な活動を心掛けています。それは埼玉工場が自動車用のタイミング製品や、システムコンベヤ製品の製造・販売を主力に生産し、グループの中でCO<sub>2</sub>や廃棄物の排出量が最も高く、特に自動車部品は生産の伸びが大きく、活動の要になっているためです。

2007年度は、廃棄物のゼロエミッションを達成しました。しかし、CO<sub>2</sub>排出実績は重油燃料のガス化継続と、省エネ型熱処理炉の導入などを進めたものの、0.7%の増加（対前年度比 原単位）となりました。今後、工場再編や生産拡大の中で環境投資を積極的に行い、効果に結び付けたいと考えています。

## 株式会社ツバキエマソン



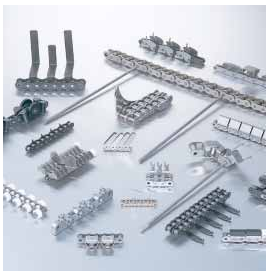
設立年月：2002年4月  
 代表者：代表取締役社長 市川 直  
 住所：〒617-0833 京都府長岡京市神足暮角1-1  
 敷地面積：175,076㎡（京都55,506㎡、兵庫64,616㎡、岡山54,954㎡）  
 緑地面積：33,854㎡（京都6,074㎡、兵庫17,180㎡、岡山10,600㎡）  
 資本金：4億6,000万円  
 従業員数：594名  
 事業内容：ギヤ減速機、機械式無段変速機、電動シリンダ、ジャッキ、カムクラッチ、摩擦式締結具、軸継手、過負荷保護機器等の開発製造および販売



京都議定書第一約束期間の始まりの年でもあり、京都に本社をおく企業としてCO<sub>2</sub>排出量削減に向けて取り組みを強化しています。「分別・節電・リサイクル」できることから「こつこつ」を掲げ、京都府長岡京市、兵庫県加西市、岡山県津山市の三地域に所在する三工場を一括して活動を進めています。2007年度は岡山第二工場の建設に伴う環境関連設備への投資、兵庫工場生産品の再編などを行いました。CO<sub>2</sub>排出量14%削減（2002年度比、原単位）と目標以上の実績を維持できました。

2008年度も、重点テーマとしてCO<sub>2</sub>排出量の削減、省エネ、省資源、ゼロエミッションの推進だけでなく、グリーン調達促進、環境配慮製品の拡大に取り組んでいきます。

## 株式会社椿本カスタムチエイン



設立年月：1964年6月  
 代表者：代表取締役社長 吉岡 武彦  
 住所：〒574-0064 大阪府大東市御領2-3-1  
 敷地面積：16,978.38㎡  
 緑地面積：1,239.19㎡  
 資本金：1億2,500万円  
 従業員数：200名（派遣社員、アルバイトを除く）  
 事業内容：小形搬送用チェーンおよび特殊チェーンの開発・設計・製造



当社は、小形搬送用チェーンの開発・設計・製造を事業とし、企業経営の中で環境保全を最重要課題の一つとして位置付けています。昨年度は新熱処理工場を建設し、旧工場跡地については、環境保全を優先的に考慮し、緑地帯にして全体の緑地面積を以前のほぼ2倍に増やしました。

また、今年度より本格的に開始した「全社ムダ取り活動」において、あらゆる部門で生産性の向上を図っています。設備の稼働率アップだけでなく、離席時のムダな照明や、必要以上の照明箇所の見直しなど、効率的なエネルギー使用に努め、ムダな電力使用を抑え、つばきグループの目標であるCO<sub>2</sub>削減1%を必達目標に展開しています。

また、ゼロエミッションについても、2007年度導入以来、毎月連続して再資源化率97%以上を達成しており、今後もこれを維持・向上できるように努めます。

## 株式会社椿本スプロケット



設立年月：1951年12月  
 代表者：代表取締役 西村 雅温  
 住所：〒613-0022 京都府久世郡久御山町市田一ノ坪28-1  
 敷地面積：24,000㎡  
 緑地面積：3,557㎡  
 資本金：1億2,600万円  
 従業員数：161名  
 事業内容：各種動力伝動用スプロケット、タイミングプーリおよびカップリングの製造販売、各種輸送機用スプロケットの製造販売、各種カスタムカムの設計製作販売、応用製品、付属品の製造販売、他



当社は、2007年度に工場一棟を増設しました。併せて、旧建屋の耐震強化、緑地の整備、廃棄物集積所の改築を行い、工場環境の整備を進めました。空調の改造によるCO<sub>2</sub>排出量の前年度比7.2%削減、有機溶剤不使用設備への改装、環境負荷物質を含まない製品在庫への転換完了と、施設・製品両面での改善を達成することができました。

2008年度は、生産増強と環境改善を積極的に行い、エコ製品の発売、グリーン調達、廃棄物の減量・再利用の拡大に取り組んでいます。工場全体の環境活動を進めると共に、地域社会の環境活動にも積極的に参加し、全従業員とともに地球環境の維持向上に努めます。

## 株式会社橋本バルクシステム



設立年月：1981年4月  
代表者：代表取締役社長 片岡 揚平  
住所：〒561-0872 大阪府豊中市寺内2-4-1(緑地駅ビル)  
敷地面積：10,232㎡(兵庫工場)  
資本金：1億5,000万円  
従業員数：152名  
事業内容：粉粒体搬送コンベヤと付属機器の製造販売、穀物サイロシステム、粉粒体ハンドリングシステムとそのエンジニアリング、メンテナンスサービス、他



当社は、「専門的な技術を磨き、顧客が抱える問題を解決する」という行動指針に、お客様に喜ばれる製品や社会の環境改善に貢献できる製品づくりを目指しています。2008年度は、コンベヤケース内に輸送物を残留させない機構と食品残渣リサイクル設備用コンベヤの磨き上げ、低騒音コンベヤの仕様確立を目指しています。また、環境関連市場への拡販と有益な環境側面を重視した生産を環境目標として掲げ、環境マネジメントシステムを活用して環境改善活動を行っています。今後も、積極的にお客様や社会の声に耳を傾け、環境に貢献するバルクハンドリング技術と商品づくりに取り組み、顧客満足と価値の創造を追究していきます。

## 橋本メイフラン株式会社



設立年月：1973年11月  
代表者：代表取締役 宮北 大嗣  
住所：〒528-0235 滋賀県甲賀市土山町大野5001  
敷地面積：27,071㎡  
緑地面積：5,787㎡  
資本金：9,000万円  
従業員数：119名  
事業内容：チップ(金属切粉)、スクラップ、塵芥、故紙など固形廃棄物搬送用コンベヤおよびチップ・クーラントの総合処理システムの設計製造、販売、輸出入およびその付帯工事の施工



当社は、つばきグループの一員として、地球環境の保全が人類共通の最重要課題ととらえ、あらゆる事業活動および従業員行動を通じ、持続可能な循環型社会に積極的に貢献し、豊かな明日の創造に寄与することを目指しています。また、当社の所在地の滋賀県では健全な琵琶湖を次世代に引き継ぐための指針としてマザーレイク21計画(琵琶湖総合保全整備計画)を制定しており、それに伴い環境保全が厳しく要求されます。その要求事項を順守することを念頭に置き、これまで培ってきた技術を最大限に生かし全社を上げて、環境にやさしい製品づくりに取り組んでいます。

## 株式会社橋本鑄工



設立年月：1968年10月  
代表者：代表取締役 柴本 健介  
住所：〒357-0022 埼玉県飯能市新光20  
敷地面積：6,292㎡  
緑地面積：820㎡  
資本金：5,000万円  
従業員数：70名  
事業内容：乗用車エンジン、カーエアコンなど量産小物向け普通ならびに特殊鑄鉄の製造、加工および販売



当社は、主に自動車部品用小物鑄物の開発・設計・製造に携わっています。橋本チエイン埼玉工場の一画に位置し、環境方針をはじめとして、環境活動を橋本チエインと一体で取り組んでいます。鑄物業界は3K職場の代表というイメージがある中で、積極的に環境改善に取り組んできました。増産と生産性向上を目指した新工場が稼動し1年が経過しました。省エネ、粉塵対策、騒音対策などを実施するとともに積極的に環境改善を実施しました。今後とも、さらに継続的改善を進め3A工場(安全、安心、明るい)の完成を目指します。

## ツバキ山久チエイン株式会社



設立年月：1939年9月  
代表者：代表取締役社長 大森 幹彦  
住所：〒108-0074 東京都港区高輪2-15-16  
敷地面積：15,000㎡  
緑地面積：1,250㎡  
資本金：1億2600万円  
従業員数：174名  
事業内容：各種機械用チェーン及び省力機器類ほか自動化装置の設計、製造、販売、貿易



当社は、各種産業用チェーン、精密機械部品、自動化装置、省力化装置の開発・設計・製造・販売をしており、産業界の自動化、省力化に貢献することを目指しています。つばきグループの一員として常にグループの環境理念を認識し、省エネルギー化、ごみの分別、廃棄物の削減とリサイクルを推進し、環境関連法令を順守しています。2008年9月にISO14001の認証を取得しました。地球にやさしく、環境を保全するために、今後とも環境配慮製品の設計、グリーン調達、有害化学物質の削減などに取り組んでいきます。

## 編集後記

ステーキホルダーとの対話の場として開催した座談会では、調達先の皆様の率直なご意見を伺うことができました。今後も、より良いパートナーシップを築きながら、サプライチェーン全体で環境保全や社会貢献などに向けた取り組みを進めてまいります。特集では自動車エンジンの中に使われているチェーンの進化をご紹介します。一般的には目にされることのない当社のタ

イミングチェーンドライブシステムが、自動車の性能向上に貢献していることを多くの方々にご理解いただければ幸いです。

つばきグループの環境・社会報告書は今年度で4年目の発行となりました。今後とも、つばきグループの社会的責任に関する活動をより一層充実させます。

(CSR推進センター 環境経営室)